

■宮ヶ谷戸前堰魚道現地検討会（ときがわ町都幾川）

日 時：平成 24 年 10 月 23 日(火) 10：30～16：00

場 所：宮ヶ谷戸前堰およびアスピアたまがわ会議室

参加人数：15 名(ときがわ町産業観光課 3 名、設計会社 2 名、NPO 9 名、アドバイザー 1 名)

主 催：[もりんど]水辺分科会

◆ときがわ町では、アユ遡上の障害となっている宮ヶ谷戸前堰について、魚道設置の方向で、平成 23 年度に調査、24 年度に設計を行なう予定で検討を行っています。魚道型式について、三つの案が設計会社より提案されたのを機に、かねてから魚道設置を要望していた[もりんど]にも検討の依頼がありました。そこで、今回、[もりんど]では、独)土木研究所で魚道の研究をされている村岡敬子氏をアドバイザーにお招きし、宮ヶ谷戸前堰に有効な魚道について、行政、設計会社、市民(NPO)、専門家の 4 者で検討する機会を設けました。



写真 1 宮ヶ谷戸前堰の確認（右岸側に増設された通水路は 2 枚の堰板で調整できる）

■当日は、宮ヶ谷戸前堰右岸に集合、堰の状況(堰の段差や川底、流れの様子など)を確認した後、アスピアたまがわ会議室に移動し、検討会を行いました。

■司会者より参加者の所属を簡単に紹介した後、設計会社に、主な魚道型式とそれぞれの特徴、提案された三案、(台形断面型、石張斜路型、ユーコーン型)についての選定理由等を説明して頂き、その後自由討論としました。また、行政からは、左岸側に通水路を増設する可能性があるとの報告もありました。



写真 2 会議の様子（設計説明）

■ 討論では、参加者それぞれの立場からの質問や提案があり、折衷案の提起や付帯工事の必要性等にも話がおよびました。また、村岡氏からは、要所要所で、専門的なアドバイスも頂きました。



写真 3 会議の様子（専門家の説明）

■ 今後は、本日の意見・提案を踏まえた設計会社からの再提案を待ち、さらに検討を重ねて行くこととし、午後 2 時過ぎに検討会を終了しました。

■ 検討会終了後、ときがわ町の他の堰や魚道を視察しました。都幾川本流 6 ケ所、氷川 3 ケ所を視察し、午後 4 時頃解散となりました。